

第59回

日本太鼓全国講習会



福島県・阿武隈川と安達太良山

- 期 日 2017年6月24日(土)・25日(日)
会 場 福島県・郡山市片平公民館
主 催 
主 管 東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部
後 援 文化庁、福島県、福島県教育委員会、郡山市、
郡山市教育委員会、福島民報社、日本財団



公益財団法人 日本太鼓財団

会 長 松 本 英 昭

公益財団法人日本太鼓財団では、現在41都道府県に45支部が設立され、加盟団体数700チーム、会員総数2万人を数えております。

財団事業の一つである資格認定制度に基づく公認指導員、技術認定員の総数もそれぞれ198名、11,391名と着実に増えております。

今年、3月には兵庫県において、次代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを目的に「日本太鼓ジュニアコンクール」を開催いたしました。昨年に引き続きブラジル、台湾に加え、アルゼンチンチームが特別演奏として出演しました。国内外の予選には522チーム5,506名が出場、本選では全56チームが日頃の練習の成果を競い合い、福岡県の「和太鼓たざり」が初優勝を果たしました。なお、この大会の様子はインターネット配信により、全世界に中継されております。

公益財団法人日本太鼓財団は本年創立20年目を迎えます。これを記念し、9月に東京都国立劇場において全国から14チームによる「日本太鼓全国フェスティバル」、11月には東京都浅草において「財団創立20周年記念日本太鼓フェスティバル」を開催します。今後も8月に東京都で大学太鼓チームによる「大学太鼓フェスティバル」、10月には静岡県で障害者チームによる「日本太鼓全国障害者大会」、奈良県で「国民文化祭・なら2017 太鼓の祭典」をそれぞれ開催いたします。

このように日本太鼓が脚光を浴びるなか、第59回日本太鼓全国講習会が福島県・郡山市片平公民館を中心として開催できますことは誠に喜ばしいこととあります。この講習会は、日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を目的として行うものです。参加される皆様には、一流講師の指導のもと、技術の習得は勿論、太鼓の歴史や礼節を学びとっていただきたいと思っております。併せて、日本太鼓を通じ全国の仲間と交流を図り、友好を深め、それぞれの思い出に残る講習会となりますことを期待いたします。

最後になりましたが、今回の講習会にあたり、ご支援、ご協力いただきました文化庁、福島県、福島県教育委員会、郡山市、郡山市教育委員会、福島民報社をはじめ、ご指導いただきます講師の先生方、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部の皆様にご心からお礼を申し上げます。



東北太鼓連合

会 長 齋 藤 通 夫

みんな、みぢのぐのとんぼ口「福島県」さ、よく来たない。ありがどない。

さて、公益財団法人日本太鼓財団主催「第59回日本太鼓全国講習会」を、東北は福島県郡山市で開催できますこと、そして全国から受講生の皆様をお迎えできますこと、誠に嬉しいことであり東北太鼓連合並びに東北各県の会員一同、心から歓迎申し上げます。

顧みれば、東日本大震災そして東京電力福島第1原子力発電所放射能事故におきましては、全国の太鼓団体の皆様から心温まるご支援を賜りました。お陰様をもちまして、活動を断念せざるを得ない多くの仲間たちにとって、活動再開に向けどれだけ心強い励ましになったことかと、あらためて御礼申し上げます。

特に、公益財団法人日本音楽財団は、世界に冠たるバイオリンの名器「ストラディバリウス」を、被災地の文化復興・継承のために売却頂きご支援賜りました。太鼓文化を発信する自分達のもとより、地域の伝統文化を継承する者にとり、どれだけ大きな励ましになったことか、あらためまして深く感謝を申し上げます。

東北太鼓連合も、東北の太鼓文化復興を旗印に「東北太鼓ジュニアコンクール」「東北太鼓ジュニア指導者講習会」を柱に、公益財団法人日本太鼓財団並びに全九州太鼓連合のご指導を賜り、様々な事業を実施してまいりました。このような中、全国から受講生をお迎えし、魂に響く音楽として世界中で脚光を浴びる和太鼓の心と真髓と一緒に学べるとともに、和太鼓を愛する同胞との交流が育まれますことは、願ってもないことであります。この講習会で、受講生の一人ひとりに和太鼓の根が宿り、それぞれの地で芽吹く契機となることを心からお祈り申し上げます。

結びに、本講習会の開催にあたり、ご支援をいただきました文化庁、福島県、同教育委員会、郡山市、同教育委員会、福島民報社、日本財団など多くの関係団体の皆様に感謝と御礼を申し上げ、挨拶といたします。



日本太鼓財団 福島県支部

支部長 高橋 雅行

受講生の皆さん、ようこそ福島県郡山市へおこしいただきました。第59回日本太鼓全国講習会へのご参加を心より歓迎申し上げます。

福島県内での全国講習会は震災以降では、2014年に引き続き、2回目の開催となります。福島県内はいまだに震災の傷跡が残る地域もありますが、少しずつ、着実に復興へと向かっております。また、震災の際には当支部への全国の支部の皆様からの支援、誠にありがとうございました。今回の開催地となる郡山市は福島県の中央に位置し、東北の玄関口として県内外の多くの企業が進出し、経済・商業都市として県民の生活を支えています。さらに郡山市は「音楽都市」としての魅力ある街づくりを目指し、年間を通じてさまざまな音楽イベントが開催されています。郡山市公会堂など音楽のための施設も整備されており、講習会の会場となる片平公民館も太鼓の講習をするには十分な設備を整えています。そのような環境の中、皆様にとって実り多い講習会になりますよう期待申し上げます。

当支部は、約40の団体が所属する支部で年間を通じて多くの事業を開催し、広く県民に和太鼓の魅力を伝え、伝統文化の普及に努めております。特に毎年6月に開催される「ふくしま太鼓フェスティバル」では多くの来場者があり、太鼓の魅力を十分に伝えられるイベントだと思っております。本講習が全国各地の和太鼓を愛する人たちの交流と親睦を深める場となりますよう祈念いたします。

結びに本講習会の開催にご協力いただきました関係の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、受講生の皆さんにとりまして実り多いものとなることをお祈り申し上げ、歓迎のあいさつとさせていただきます。

第59回日本太鼓全国講習会 概要

1. 目的 日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を促し、日本太鼓の普及・振興を図ることを目的として実施します。
2. 開催日時 2017年 6月 24日(土) 11:00 (受付開始 09:30)
25日(日) 12:30 講習会終了
* 専門講座を受講された方は、設定された講話「太鼓について」(浅野昭利氏)を13:30より受講後、14:30頃の解散となります。
なお、技術認定のための検定試験は日曜の13:30より実施します。
3. 講習会場 郡山市片平公民館(福島県郡山市)
4. 主催 公益財団法人 日本太鼓財団
5. 主管 東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部
6. 後援 文化庁、福島県、福島県教育委員会、郡山市、郡山市教育委員会、福島民報社、日本財団
7. 講習内容
 - (1) 専門講座 御諏訪太鼓講座 (複式単打法) 松 枝 明 美 氏(長野県)
大太鼓講座 (単式単打法) 山 内 強 嗣 氏(静岡県)
秩父屋台囃子講座 (複式複打法) 高 野 右 吉 氏(埼玉県)
 - (2) 基本講座 総合指導 古 屋 邦 夫 氏(財団技術委員長)
3級基本講座 鈴 木 孝 喜 氏(秋田県)
4級基本講座 渡 辺 徳 太 郎 氏(福島県)
5級基本講座 (初心者講座) 渡 辺 洋 一 氏(東京都)
専門講座講話 浅 野 昭 利 氏(石川県)
8. 公認指導員昇級試験
本講習会において公認指導員の昇級試験として講習内検定を実施します。
9. 受講者数 約195名
10. 受講に際して
 - (1) 講座は、途中で変更することは出来ません。
 - (2) 講習途中の出入り、見学等は出来ません。
 - (3) 受講中は、休憩時間を除き喫煙、飲食等を禁止します。
 - (4) 受講時の太鼓等の移動は、受講者が積極的に行ってください。
 - (5) 受講者は、運動着、運動靴、筆記用具、バチを持参してください。
なお、各基本講座の受講者は次の指定バチをそれぞれ1組持参してください。
カシバチ 太さ 7.5分~8.0分 長さ 1尺3寸~1尺4寸
太さ 6.0分~6.5分 長さ 1尺3寸~1尺4寸
* 専門講座については開催要項をご参照下さい。
 - (6) 会場内で、太鼓関係物品の展示及び販売もいたしますので、ご利用下さい。

11. 生活上の心得

- (1) 団体生活においては、秩序と礼儀、協力と責任が基本条件になることを十分に認識して自分の行動を律して下さい。
- (2) 講師や受講生と積極的に語り合い、交流の輪を広げることが講習会の成果を大きく左右します。
- (3) 金銭等の貴重品は必ず身につけて下さい。
- (4) 事故等が発生したら直ちに本部に連絡して下さい。
- (5) 宿泊のマナーには十分気をつけて下さい。
万一の場合に備えて避難口を確認して下さい。室内の整理整頓に心がけて下さい。
寝タバコは絶対に禁止します。
- (6) 健康には留意し、特に睡眠時間を十分にとるようにして下さい。
万一体調をくずした場合は早めにお申し出下さい。

12. 講習曲使用について

講習会において使用した曲を、講習会以後に演奏したい場合は、財団事務局までお問合せ下さい。

13. 技術検定 <受験希望者は、下記項目をご確認下さい。>

(1) 受験資格並びに方法

1 級技術検定

2 級技術認定員のみ受験できます。打法の異なる専門講座に 3 回合格する必要があります。専門講座のうち一つを受講して下さい。

なお、最終検定を受ける方は、論文（1,600字程度・テーマは日本太鼓の効用に関する内容）の提出が必要です。

2 級技術検定

3 級技術認定員のみ受験できます。打法の異なる専門講座に 2 回合格する必要があります。専門講座のうち一つを受講して下さい。

なお、最終検定を受ける方は、論文（800字程度・テーマは日本太鼓に関する内容であれば自由）の提出が必要です。

* 1・2 級技術検定において全打法（単式単打・単式複打・複式単打・複式複打）の専門講座を受講する必要があります。

* 1・2 級最終検定の論文は、400字詰め原稿用紙を使用して下さい。

3 級技術検定 4 級技術認定員のみ受験できます。

4 級技術検定 5 級技術認定員のみ受験できます。

5 級技術検定 10才以上であれば初心者を含めどなたでも受験できます。

（2018年4月1日までに10才を迎える方も含みます。）

(2) 技術検定料は一律2,000円、講習内検定料は一律5,000円です。

(3) 認定料は、合格者に限りその場で必要となります。

1 級認定料 20,000円、 2 級認定料 10,000円、 3 級認定料 8,000円、

4 級認定料 5,000円、 5 級認定料 3,000円

(4) 検定試験の際は必ず各講座の指定バチをご使用下さい。

(5) 直接検定試験を受ける方は、受付で受験方法を確認して下さい。

(6) 基本講座は「日本太鼓教本」が一人一冊必要となります。お持ちでない方は、売店でお求め下さい。

第59回日本太鼓全国講習会・日程表

第1日目 2017年6月24日(土)

時 間	進 行	会 場	外部会場
09:30	受付開始 受付次第、更衣室で着替えを済ませ、待機して下さい。 私物は個人で管理して下さい。	ロビー	
	*男子更衣室:		
	*女子更衣室:		
09:40	*講習内検定者打合せ会(基本講座講師・講習内検定参加者)		
11:00	開会式 開会の辞 国歌斉唱 あいさつ (公財)日本太鼓財団 塩見和子理事長 日本太鼓財団福島県支部 高橋雅行支部長 東北太鼓連合 齋藤通夫会長 来賓祝辞 来賓・役員・講師紹介 閉会の辞	大ホール	
11:20	講師模範演奏 オリエンテーション *記念写真(講座別)		
12:00	昼食・休憩 *昼食後、各会場へ移動		
13:00	総合指導 講師:古屋邦夫氏 御諏訪太鼓講座 講師:松枝明美氏 大太鼓講座 講師:山内強嗣氏 秩父屋台囃子講座 講師:高野右吉氏 3級基本講座 講師:鈴木孝喜氏 4級基本講座 講師:渡辺徳太郎氏 5級基本講座 講師:渡辺洋一氏		
18:00	講習終了 *講習内検定者反省会:		
19:00	夕食・入浴 消灯・就寝		
宿舎 (希望者)	福島県郡山自然の家 〒963-0213 福島県郡山市逢瀬町多田野中丸山46 Tel .024-957-2111		
備考	宿舎では、マナーを守って生活して下さい。		

第2日目 2017年6月25日(日)

時間	進行	会場	外部会場
	起床 朝食 片づけ * 荷物は各講習会場に持参		
8:45	朝の集い(体操用に運動着を着用のこと)	各会場	
9:00	総合指導 講師:古 屋 邦 夫 氏 御諏訪太鼓講座 講師:松 枝 明 美 氏 大太鼓講座 講師:山 内 強 嗣 氏 秩父屋台囃子講座 講師:高 野 右 吉 氏 3級基本講座 講師:鈴 木 孝 喜 氏 4級基本講座 講師:渡 辺 徳 太 郎 氏 5級基本講座 講師:渡 辺 洋 一 氏		
11:00	講習終了 成果発表会準備	移動・準備	
11:30	専門講座成果発表会	大ホール	
12:00	閉会式 あいさつ (公財)日本太鼓財団 大 澤 和 彦 常 務 理 事 東北太鼓連合 齋 藤 通 夫 会 長		
12:30	昼食・休憩		
13:15	専門講座成績発表		
13:30	専門講座講話:「太鼓について」 浅 野 昭 利 氏		

<以降、検定受験者のみ>

13:30	検定試験(筆記) 5級 4級 3級 終了次第、実技試験を受験		
	検定試験(実技) 3級 4級 終了次第、学科試験を受検		
	5級		
	受講待機場所:大ホール		
16:00 (予定)	成績発表 (全員) *合格者は手続き終了後解散	大ホール	
16:30 (予定)	終了予定		

講師プロフィール



専門講座

「御諏訪太鼓講座（複式単打）」

講師 松枝 明 美

御諏訪太鼓保存会(長野県)副会長
(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員
日本太鼓財団長野県支部 事務局長

1980年3月に御諏訪太鼓に入門、宗家である小口大八氏に師事、以来今年は大鼓歴37年を数える。

福島県の指導を皮きりに県内外チームの指導に努め、すでに100チームを越える。

また海外でも数多くの公演を行い、多くの海外チームを指導している。

1998年2月に開催された長野県オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行う。

1999年は5月下旬～6月下旬にかけ、ペルー並びにポリビアにおける日本人移住100年祭記念公演に参加。

2001年4月下旬～5月上旬にかけ、バルト3国(リトアニア、ラトビア、エストニア)におけるユネスコ会議等での公演に参加。

2008年10月から長野県支部事務局長、御諏訪太鼓保存会副会長に就任。



専門講座

「大太鼓講座（単式単打）」

講師 山内 強 嗣

富岳太鼓(静岡県)代表
(公財)日本太鼓財団 理事
(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員
日本太鼓財団静岡県支部 顧問

1986年に独学で大太鼓を始め、翌年、富士山太鼓まつり大太鼓コンテストにおいて優勝。その後オロナイン軟膏、セブンスター等のCM出演や、プロ野球オールスター戦のオープニング、24時間テレビ、仮面ライダー響鬼など多くのテレビ、映画への出演、楽曲提供を行っている。またオリジナルの和太鼓組曲「富士山」を国立劇場で発表するなど、年間100を超える国内公演をこなし、海外では過去25カ国において300回以上の演奏実績を持つ。

現在は富岳太鼓、富岳和太鼓教室の代表として、演奏・創作活動、地域文化発展のための技術指導、チームの育成活動を展開。また本業である児童発達支援センター富岳学園の園長として、和太鼓を知的障害児(者)のセラピーに導入。実践、研究を重ね『和太鼓療育プログラム』を独自に開発し、全国各地でワークショップ、講習会、講演会を開催し、広く世界からも注目を浴びている。

講師プロフィール



専門講座

「秩父屋台囃子講座（複式複打）」

講師 高野 右 吉

高野右吉と秩父社中(埼玉県)代表
(公財)日本太鼓財団副会長
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団埼玉県支部名誉会長

秩父夜まつりは、京都の祇園、飛騨高山と並んで日本三大曳山祭のひとつであり、毎年12月3日に本祭が行われます。神が宿る20トンもの豪華な六基の山車が繰り出され、それぞれの山車の上で演奏されるのがこの屋台囃子です。1955年に県から無形文化財に指定され、1985年には文化財指定30周年を記念して太鼓道場を設立しました。また、これまでに外国人を含む千人余りの弟子を輩出しています。

1942年、埼玉県秩父市で生まれる。

幼い頃より父である初代高野右吉(埼玉県指定無形文化財秩父屋台囃子保存者)について、秩父屋台囃子の稽古に日々打ち込む。

1962年に屋台囃子保存会副会長、1983年に同会会長となる。

演奏活動は、昭和天皇、皇后両陛下の天覧を賜わるなど日本全国に及び喝采を浴びている。ボランティアとして地元はもとより各地で後継者を育てている。また、海外ではカナダ39日間公演をはじめ18カ国で公演し、芸術面、技術面とも絶賛された。

1998年4月から当財団技術委員会副委員長として活躍している。



専門講座

「専門講座講話」

講師 浅野 昭 利

(一財)浅野太鼓文化研究所 理事長

1947年、石川県松任市(現・白山市)生まれ。慶長14年(1609)より続く和太鼓製造技術を継承。とくに三尺以上の大太鼓製作については独自の技術をもち、全国の神社仏閣、太鼓グループ等に多くの太鼓を製作する一方、太鼓文化の振興と発展を旨としてさまざまな活動を行っている。太鼓専門情報誌『たいころじい』をはじめ『はじめての太鼓よーいドン!』『和太鼓がわかる本』『太鼓という楽器』など、太鼓関連書籍も多数出版。株式会社浅野太鼓楽器店代表取締役専務。浅野太鼓祭司株式会社代表取締役社長。太鼓の里響和館代表。公益財団法人鼓童文化財団理事。NPO法人おやこの広場あさがお理事長。2007年、白山市より地域文化賞受賞。

講師プロフィール



基本講座
総合指導

講師 古 屋 邦 夫

御諏訪太鼓保存会(長野県)会長
(公財)日本太鼓財団技術委員会委員長
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団長野県支部 支部長

1967年6月に御諏訪太鼓に入門、宗家小口大八氏に師事、以来今年で太鼓歴50年を数える。

1970年より宗家小口大八氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。信州太鼓連盟(現在の長野県太鼓連盟)の発足に携わる。

1978年10月、長野県やまびこ国体で集団演技太鼓の部で県内チームを指導する。以降、各地の団体を指導し、その数170チームを数えている。また、海外でも数多くの公演を行い多くの海外チームを指導している。

1998年2月に開催された長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行った。

1998年4月から当財団の技術委員会委員として活躍している。

2001年4月下旬～5月上旬にかけ、バルト3国(リトアニア、ラトビア、エストニア)におけるユネスコ会議等での公演に参加。

2008年10月から長野県支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。



基本講座
「3級基本講座」

講師 鈴 木 孝 喜

蘭導(秋田県)代表
(公財)日本太鼓財団技術委員
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団秋田県支部 専務理事

この講座は、3級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

1950年2月26日に民謡家・鈴木蘭導(1988年総理大臣表彰)の次男として生まれる。

幼児期から民謡太鼓を師事。

1985年、大曲太鼓道場(1998年、父の芸名蘭導に改名)を結成する。

さまざまな太鼓音楽の研究に取り組み250以上の著作曲を持ち、全国で200団体を越える太鼓チームの指導を行っている。

全国各地多くの演奏活動を行っている。

1998年4月から当財団の技術委員会委員として活躍している。

講師プロフィール



基本講座

「4級基本講座」

講師 渡辺 徳太郎

安達太良太鼓保存会(福島県)
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団福島県支部 理事長

この講座は、4級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

昭和59年9月、長野県御諏訪太鼓宗家小口大八先生のご指導のもと安達太良太鼓保存会を結成。安達太良太鼓事務局に就任。

平成2年4月、福島県太鼓連盟事務局長に就任。

平成7年2月、福島国体冬季大会開会式の集団演技で福島県太鼓連盟合同演奏の指導、総指揮を務める。

平成8年9月、(財)日本太鼓連盟2級公認指導員に認定。

平成12年4月、(財)日本太鼓連盟運営委員に就任。

平成13年9月、うつくしまふくしま未来博「大地の響」千人揃い打ちの指導、総指揮を務める。

平成14年3月、(財)日本太鼓連盟1級公認指導員に昇級、現在に至る。



基本講座

「5級基本講座」

講師 渡辺 洋一

太鼓集団天邪鬼(東京都)代表
(公財)日本太鼓財団技術委員
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
関八州太鼓連合 会長

この講座は、5級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

幼少の頃より盆太鼓を学び、1976年に日本初の和太鼓プロ団体である助六太鼓に入門。以後プロ奏者として活動する。

1986年12月、創作和太鼓奏者として活動するために太鼓集団天邪鬼を発足。以後、和太鼓音楽を広げようと模索し、1988年に天邪鬼パフォーマンスThe Unknown Worldを作曲。多様な楽器を和太鼓に組み入れたことで、ジャンルの壁を飛び越えた新しい和太鼓音楽を発表し、国内外のアーティストと精力的にセッションを行う等、多彩な音楽活動を続けている。また、全国各地の創作和太鼓の作曲・指導を手掛け、全国大太鼓コンテストにおいては、数多くの優勝者を輩出している。2003年度には文化庁より「特別顧問 文化交流使」を任命され、米国デンバーに於いて1ヶ月の和太鼓指導を行う。

日本太鼓資格認定制度

本制度は、公益財団法人日本太鼓財団の寄付行為及び日本太鼓資格認定規程並びに日本太鼓資格認定規程細則で詳しく定めている。

主な内容は次のとおりである。

1. 本制度は、指導員としての資格について認定する「公認指導員」と演奏者としての技術水準の資格について認定する「技術認定員」の2つに区分される。
2. 公認指導員は、次の4つに区分され、それぞれ資格を有する。
 - (1) 特別公認指導員は、当財団が特に認めた者で、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員としての資格を有する。
 - (2) 1級公認指導員は、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員の資格を有する。
 - (3) 2級公認指導員は、当財団及び支部が主催する全ての講習会における基本打法担当講師、検定員としての資格を有する。
 - (4) 3級公認指導員は、支部が主催する講習会における基本打法担当講師としての資格を有する。
3. 技術認定員は、次の5つに区分される。
 - (1) 1級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確かつ優秀である者をいう。
 - (2) 2級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確である者をいう。
 - (3) 3級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得し、かつその演奏が優秀である者をいう。
 - (4) 4級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得した者をいう。
 - (5) 5級技術認定員は、基本打法の基礎を習得した者をいう。
4. 認定試験の受験資格は、次のとおりである。
 - (1) 1級公認指導員は、現に2級公認指導員であり、30才以上の年齢に達した者。
 - (2) 2級公認指導員は、現に3級公認指導員であり、20才以上の年齢に達した者。
 - (3) 3級公認指導員は、現に1級技術認定員であり、20才以上の年齢に達した者。
 - (4) 1級技術認定員は、現に2級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (5) 2級技術認定員は、現に3級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (6) 3級技術認定員は、現に4級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (7) 4級技術認定員は、現に5級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (8) 5級技術認定員は、10才以上の年齢に達した者。

公益財団法人日本太鼓財団概要

< 設 立 日 > 1997年11月11日

< 公益財団移行日 > 2012年 4 月 1 日

< 資 産 > 基本財産 3 億円

< 加盟支部数 > 45支部 (41都道府県)

< 加盟団体数 > 約700団体

< 会 員 総 数 > 約20,000人

< 役 員 >

会 長	松本 英昭	(一社) 地方公務員共済組合協議会会長
副 会 長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長
副 会 長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
理 事 長	塩見 和子	(公財) 日本音楽財団会長
常務理事	大澤 和彦	常 勤
理 事	石井 幹子	(株) 石井幹子デザイン事務所代表取締役
理 事	大宅 映子	評論家
理 事	島津 久永	(公財) 山階鳥類研究所顧問
理 事	中西 由郎	(公財) 日本ゲートボール連合専務理事
理 事	山内 強嗣	富岳太鼓代表

< 評議員 >

評 議 員	大竹 英雄	(公財) 日本棋院顧問 (名誉碁聖)
評 議 員	岡田 知之	洗足学園音楽大学名誉教授
評 議 員	河合 睦夫	富山県太鼓協会名誉会長
評 議 員	北村 汎	元駐英大使
評 議 員	佐藤 淳子	(一財) ライフ・プランニング・センター理事
評 議 員	高島 肇久	(株) 海外通信・放送・郵便事業支援機構 取締役会長
評 議 員	濱田麻記子	(株) DHCテレビジョン代表取締役社長
評 議 員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部支部長
評 議 員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
評 議 員	渡辺 貞夫	音楽家

< 監 事 >

監 事	長内 健	弁護士 長内法律事務所
監 事	竹村 葉子	弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(敬称略)

講習会開催予定一覧

日本太鼓全国講習会（財団主催）

第60回日本太鼓全国講習会(長野県)

期 日 2017年9月16日(土)・17日(日)

開催地 長野県箕輪町

第61回日本太鼓全国講習会(宮崎県)

期 日 2018年2月17日(土)・18日(日)

開催地 宮崎県宮崎市

日本太鼓支部講習会（支部主催）

第78回日本太鼓支部講習会(岐阜県)

期 日 2017年8月5日(土)・6日(日)

開催地 岐阜県郡上市

第79回日本太鼓支部講習会(北海道道西)

期 日 2017年9月23日(土)・24日(日)

開催地 北海道岩見沢市

* 各講習会のお問い合わせは、(公財)日本太鼓財団公式ホームページまたは財団事務局
(Tel .03-6229-5577)までお問い合わせください。

公認指導員・技術認定員の現在数

(2017年5月現在)

級 \ 区分	公認指導員	技術認定員
特別	0名	-
1級	44名	175名
2級	29名	355名
3級	125名	1 258名
4級	-	2 322名
5級	-	7 281名
計	198名	11 391名



〒107-0052 東京都港区赤坂 1 - 2 - 2
Akasaka 1-2-2, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan
Tel (03) 6229-5577 Fax (03) 6229-5580
URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp